京城日報 朝刊

一、本紙定價 一部金六錢 一個月前金一圓廿錢 外國送り郵税共一個月金四圓 廣告料 一行 … 十二行 … 夕刊 …
京城府大和町二丁目 京城日報社 發行所
定期刊行物 京城日報 國民新報 小國民 日報

ジャバ沖海戰殊勳の海鷲

入佐部隊に輝く感狀

武勳顯著、天聽に達す

海軍省公表（十五日午後三時）昭和十七年二月四日ジャバ沖海戰において米蘭聯合艦隊を擊滅せる入佐海軍少佐指揮の〇〇海軍航空隊支隊飛行機隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通り感狀を授與せられ右の旨上聞に達せられたり【寫眞＝入佐俊家海軍少佐】

感狀

入佐海軍少佐の指揮せる〇〇海軍航空隊支隊飛行機隊

昭和十七年二月四日ジャバ沖に敵海上部隊を索めて進擊中、巡洋艦約六隻を基幹とする敵米蘭聯合艦隊を發見するや熾烈なる防禦砲火を冒し果敢的確なる爆擊を決行し、たちまちにして敵巡洋艦二隻を轟沈し、一隻を大破し他をして潰亂に陷らしめたるは爾後の蘭印作戰に寄與せるところ至大にして、その武勳顯著なりと認む

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年五月二十七日

聯合艦隊司令長官 山本五十六

血に染む大東亞海

寄せ集めの米蘭艦隊を潰滅

支那事變勃發當初以來、渡洋爆擊、奧地爆擊などに數度の個人、部隊兩感狀受領の殊勳に輝くわが海鷲の雄入佐俊家海軍少佐指揮下の海鷲部隊は、去る二月四日南濠ジャバ海上に敵米蘭の聯合艦隊を捕捉潰滅し陷落寸前のシンガポールへの敵連絡路を切斷するとともに、爾後のわが對蘭印作戰遂行上絶大なる寄與をなし、燦たる武勳に輝いた、當時敵艦隊は、わが比島方面作戰により同方面より逃れ出た米アジヤ艦隊及び緒戰の一擊にプリンス・オブ・ウエールズおよびレパルスをマレー沖に轟沈された英東洋艦隊の敗殘艦隊、更に濠州方面より北上せる濠洲艦隊など巡洋艦約六隻、驅逐艦數隻より成る英米濠蘭の寄せ集め艦隊が、蘭印方面海上に結集し、自分勝手に描き出した『マカッサル海戰大勝利』の夢に、勇み殊勝にも出擊して來つたのである、しかるにこの好機を、虎視眈々と窺つてゐたわが入佐少佐指揮の海鷲部隊は、二月四日午前十一時五十分この好餌を發見するや隼の如く襲ひかかり必死と射ち上ぐる熾烈なる敵防備の砲火を冒してこれを捕捉、大東亞海上を血に染めて勇戰奮闘蘭乙巡ジャバ型（六、六七〇トン）一隻を轟沈、米甲巡オーガスタ型（九、〇五〇トン）一隻を擊沈、蘭乙巡ジャバ型一隻を大破他の艦艇をして周章狼狽なすところを知らざる潰亂狀態に陷れ、しかもわが方の損害は僅かに飛行機一機といふ大戰果を擧げたのであつた、このジャバ沖海戰の大戰果こそはそののち旬日にして英東亞の牙城シンガポールを陷落せしめ、三月九日ジャバの無條件降伏を招來するなど、わが蘭印作戰の全般に大なる貢獻をなしたるものであつた

在亞港佛艦隊 反樞軸軍との協力を拒否

【ビシー十四日同盟】北阿の英米軍はアレキサンドリヤに繫留されてゐるフランス艦隊については米軍の佛領上陸作戰以來種々取沙汰されてゐたが、フランス政府情報省は十四日同艦隊は依然反樞軸軍との協力を拒否してゐる事實を明らかにし次の通り發表した

在アレキサンドリヤ佛艦隊司令長官ゴードフロア提督はペタン元帥からの命令を絶對に遵奉し同元帥以外のものからの命令には服從せぬ旨を宣言した、同提督はさらに麾下の將兵に對して斷じて自艦を離れぬやう嚴命を發した

タス通信社を通じて發表された右回答においてスターリン首相は聯合軍の作戰に觸れたが、なほ目これをもつてソ聯の要求する第二戰線とは見做し得ないことを示唆して注目された

アルゼンチン 極左派を彈壓

【リスボン十四日同盟】ブエノスアイレス來電によればカスチョ大統領は十四日樞軸新聞記者との會見において『アルゼンチン政府は最早共産主義者の策動を默過し得ず』と聲明したと傳へられる、アルゼンチン政府は過去二週間來勞働組合はじめ左翼派に對する取締り方針を强化し最近も組合幹部十名を勞働爭議煽動の廉をもつて檢擧してゐる

アイスランド 內閣總辭職

【リスボン十四日同盟】ライキャブイツク來電によればアイスランド內閣は十四日總辭職を行つたと傳へられる

赤軍集團を殲滅

獨軍各地に戰果擴大

【ベルリン十四日同盟】東部戰線では寒氣漸く嚴しく各地區とも大規模な機動戰が見られないが、スターリングラード以南諸地方では天候回復を待つて再び激戰が展開され、獨軍は着々戰果擴大中の模樣で、十四日獨軍筋の情報によれば各地區の戰況左の通り

一、ノボロシースク、ツアプセ間では獨軍ならびに同盟軍は、數ケ所において重要高地を奪取し赤軍を危地に陷れるとともに、獨空軍の有效なる掩護により相當程度その攻擊陣型を改善することが出來た

一、テリョク河上流地區では獨空軍は敵戰車集團に猛爆を加へ、これを壞滅させた、同方面において獨軍は捕虜二萬以上、大砲一千門以上その他軍需資材多數を鹵獲したほか、敵に甚大な損害を與へた

一、アストラハンからボルガ灣西部に至る高原地帶でも獨軍の巧妙な作戰が效を奏しエリスタ東方で强力なる赤軍集團を包圍これを完全に掃蕩した

一、スターリングラード工場地區における赤軍殘存部隊掃蕩戰においても獨軍部隊はとくに强力に防禦された家屋群を奪取した

獨軍戰況發表

【ベルリン十四日同盟】獨軍司令部發表＝

▲東部戰線 一、コーカサス西部の獨軍は嶮々たる山岳內の戰略的重要據點並に赤軍防禦陣地多數を强襲占領した

一、テリョク地區の赤軍は有力な兵力をもつて反擊を加へ來つたがドイツ軍はこれを擊退、戰車多數を擱坐せしめた

一、カルムイクの高原地帶に作戰中の獨軍機械化部隊は赤軍の抵抗據點一ケ所を强襲、俘虜多數を得た

一、スターリングラード市南部地區では赤軍は反擊に出で來つたが獨軍の防禦砲火により擊退された、同市の獨軍は激戰後さらに家屋數棟を占領赤軍の反擊を退けた

一、十一月一日より十日までの間に赤軍は飛行機二百六十二機を失つた、うち二百十八機は空中戰により擊墜、三十三機は地上砲火により擊墜、さらに十一機は地上部隊の攻擊により擊破された

▲リビヤ戰線 一、樞軸軍はトブルク港の新軍事施設を破壞したのち同港を秩序整然と撤退した

▲佛領北アフリカ 獨空軍はブージー灣水域で六千トン級の聯合軍商船一隻を擊沈、巡洋艦二隻大型輸送船五隻に反復命中彈を與へた、巡洋艦一隻は沈沒した模樣である

一、西部獨立作戰部隊の報告によれば佛領モロツコ諸地域の港灣飛行場は既に米軍の利用するところとなり、また米軍はカサブランカに至り入城した

一、東部獨立作戰部隊は新陣地を强化させるとともにアルジエーからチュニジヤへ向け前進中である

米軍發表

【リスボン十四日同盟】ワシントン來電＝米陸軍省は北阿の戰況につき十四日午後左の如く發表した

獨潛艦、赫々の戰果

敵商船四十五隻擊沈

【ベルリン十四日同盟】獨軍司令部十四日發表（一）大西洋カリブ海北氷洋に作戰中の獨潛水艦は特別公表に發表された戰果以外に更に船團護送中の驅逐艦一隻を擊沈商船一隻にも魚雷を命中させた

（二）なほ地中海水域においてさらに輸送船二隻、大型油槽船一隻總トン數二萬トンおよび驅逐艦一隻を擊沈した（三）獨潛水艦がアルジエリヤおよびモロツコ近海で擊沈した敵輸送船は十一隻九萬九千百トンに達する

（一）十一月九日の特別發表以後獨潛水艦は地中海より大西洋水域において商船三十一隻廿一萬八千トンを擊沈、さらに商船六隻に魚雷を命中させた、同期間中においては英巡洋艦三隻、驅逐艦四隻は擊沈、空母一隻、驅逐艦一隻、コウエット艦一隻は魚雷のため損傷をうけた

英船九隻擊沈

獨潛艦の戰果更に追加

【ベルリン十四日同盟】獨軍司令部は十四日通商破壞戰の戰果につき發表した

大西洋において不斷の通商破壞戰に從事中のドイツ潛水艦隊は嚴重な敵空軍の監視を冒して北氷洋において船舶三隻、驅逐艦一隻からなる護送船團を襲擊、さらに同日左の通り補足的に船舶二隻合計一萬三千トンを擊沈した、またドイツ潛水艦一隻は大西洋中部水域において英船三隻、すなはちニユー・ギヤナ號（七、〇〇〇トン）スタートポイント號（五、二九三トン）シティ・オブ・リボン號（六、三六八トン）を擊沈した、さらに北阿水域において鐵、錫その他を乘せてケープタウンへ向け航行中の英船シテイ・オブ・カイロ號（八、〇三四トン）をはじめケープタウンからボンベイ向け飛行機を輸送中の英船（三、六九九トン）一隻、その他エクザミナー號（四、九六九トン）ならびにブラジルへ向ひつつあつたスクーナ船スターオブスコツトランド號（二、二九〇トン）の四隻を擊沈した

米の態度に憤激

汎米政治防衞緊急會議

【ブエノスアイレス十四日同盟】目下開催中のモンテビデオ來電＝目下開催中の汎米政治防衞委員會緊急會議はチリーにおけるドイツ側第五部隊取締りに關し協議を行つた結果、チリーおよびアルゼンチン兩國代表の猛烈な反對にも拘らず遂に米國政府がチリー政府に對し發した覺書を發表することに決定した、右覺書はさる六月米國政府がチリー政府に對し、今日まで無回答のまま放置されてゐたものだが、その中において米國政府は聯邦通信委員會の傍受したところによると船舶の動き、米國の米洲諸國に對する軍事的援助の狀態、米國の輸出狀況、チリーの政治的動向、無線電信局の組織ならびに活動狀態に關する諜報など米洲の安全を害する諸情報がドイツに送られてゐるとチリーを非難してゐるといはれる、防衞委員會における投票にあたつてチリー代表は發表することはチリーに重大なる結果を招來する手段を强要するものであると斷じ、アルゼンチン代表もまたこれに步調を合せて投票を棄權した、一方サンチヤゴからの情報によれば、チリー政府は汎米政治防衞委員會のかかる措置に憤激しモラレス內相の如きも同委員會の態度は遺憾であると前提し、政府の方針につき、つぎの如く述べてゐる

樞軸側第五部隊の取締り問題は目下調査中の結果によつて結成せねばならない、しかし政府としては今後もチリー領土および領海においては米洲の團結を害するやうな活動は一切許さないといふリオス大統領の方針に反するやうな行動については嚴重調査を進める積りである

ム首相、ビ元帥の報告聽取

【ローマ十四日同盟】ムソリーニ首相は十三日中南部伊軍司令官ピエモント元帥を引見、作戰問題に關する報告を聽取した

共同防衞を强調す

ドクー總督、再び布告

【河內特電】（十四日發）さきにペタン主席宛佛領印度支那の忠誠を通電したドクー佛印總督は更に十三日附佛印在住フランス人及び在留安南人に對する布告を發表し、ビシー政府への忠誠を再言すると共に、日本佛印共同防衞に言及し佛印における政治軍事の最高方針は日本との共同防衞協定に基くことを確認したが、右は佛印の態度を明かにしたものとして注目される

佛印における政治軍事の最高方針は既に二年有餘前わがフランス政府と日本との間に規定された通りである、この印度支那におけるフランス國主權尊重を含む規約は大西洋戰爭の開始に當つて日本佛印共同防衞協定により完成されたのである、余は就任後常に本國政府の訓令を體して鋭意統治し來り、現在まで榮光と平和及び勤勞の中に過すことを得たが、この余の政策は今後も不變である、本國において佛國民はペタン元帥の命令に從ひ靜肅と信頼に浸りつつある印度支那が未だ戰禍を知らず深刻な物資不足をも見ず今日に至つたのであるからこの非常の秋に際し一層本國への忠誠を固め不動の信頼と沈着と而して秩序を以て一致團結すべきである【寫眞＝ドクー佛印總督】

日、佛印の親密濃化

【サイゴン十五日同盟】佛米斷交においては日、佛印軍首腦部の往復が頻繁に行はれてゐる模樣でまたこれを契機として佛印が大東亞の一翼たる限り日本と一層緊密に提携協力せんとする雰圍氣が激次濃厚となりつつある、すなはち芳澤大使は去る十一日、十三日の兩日にわたりドクー總督と會談したが翌十四日夕にはドクー總督の訪問をうけてをり、このほか同日午後五時より七時の間に大使の隣接せるフランス人は總督府事務總長ゴーチエ夫妻、印度支那軍總司令官モルダン將軍、ドー・ボアサンジエ外交部長、マルタン經濟局長その他約五十名の多數にのぼり、これら頻繁な往來のうちに日佛印融和の實は着るしく昂揚されてゐる

伯、對佛外交斷絶

【リスボン十四日同盟】リオデジャネイロ來電＝ブラジル政府は十四日フランスと外交關係を斷絶しスとの國交斷絶を行つた

サルバドル對佛斷交

【ブエノスアイレス十四日同盟】サン・サルバドル來電＝サルバドル政府は十四日佛國との國交を斷絶した旨發表した

ホンジユラスも斷交す

【リスボン十四日同盟】デグシーカルパ來電によればホンジユラス政府は十四日フランスと

伯外交官、佛國より引揚げ

【リスボン十四日同盟】ビシー放送によればフランス駐箚ブラジル外交官は十四日フランス國內より引揚げるやう訓令を受けた、右は獨軍のフランス非占領地區進駐によつて獨軍とブラジル外交官との間に豫想される摩擦を避けるためにとられた措置に過ぎず、これによつて佛、ブラジル關係は何ら影響を受けない旨同放送は附加へてゐる

ルーズベルト改正兵役法に署名

【ブエノスアイレス十四日同盟】ワシントン來電＝大統領ルーズベルトは十四日改正兵役法に署名を了した、同法案は十八歲より十九歲に至る壯丁の新徵募を規定してをり最近上下兩院を通過したものである

伊瑞爲替協定成立

【ローマ十四日同盟】一九四三年におけるイタリー、スイス兩國爲替清算協定締結交渉は最近円滿妥結し十四日イタリー側委員長チアンニ氏およびスイス側委員長ホッツ氏との間にローマにおいて新協定に調印を了した

日曜氣配

今週は種々特殊なる動きが多かつただけに時局重點株の立直りは實に素晴しいもので、前月下旬の反落當時から見れば二、三十円安のものが續出してゐた、何れも特殊新株落となつた値かさみが低くなれば再增資期待でさらに買上げられるのであるから增資含みのものは百二、三十円位であつて決して割高視するには當つてないと感ぜられてゐるが、それに今迄幾度となく反省を求めて一方落勢の乏しい事業株は期待する毎に賣られてゐる關係で一向買人氣が熱狂しないのは相場の小康を保たしめてゐるやうであつた取引所株についても殆ど希望を持たれてゐなかつたが、大新が果然十円餘り急反撥を呼んだが、これは最近連日大氣勢にて手數料激增してをり一部增配期待が反撥の動機となつたのである、週末の東新は今一つ自力的反撥力乏しかつたが、雜株取引所株も大新高に追隨高を示してゐるのは注目を惹いた、人組株はすでに旭ベンベルクの二分の減配が決定し引續いての減配豫想からなほ弱氣視されたのである紡績株もとかく不振に陷り易い傾向であつて今後は決算期末の切迫とともに一層複雜な銀行商狀を繰返すだらうと見られる▲大新七十三円四十錢▲東新百十八円七十錢▲鐘新百十四円四十錢▲鐘新八十七円九十錢

蔣系軍根據地を粉碎

陸鷲、潁州を猛爆擊

【〇〇基地十五日同盟】北支軍發表 わが陸軍航空部隊は十四日折からの快晴を利して安徽省潁州（阜陽）の蔣系軍李專州麾下第九十二軍の根據地を爆擊、軍事施設に巨彈の雨を浴びせこれを粉碎、さらに渦河流域に敵九十二軍北上部隊を捕捉殲滅 戰展開中の地上部隊に協力して折から渦河を渡河北上せんとする敵大部隊を發見、これに猛烈な機銃掃射を浴びせて混亂に陷らしめ全機無事歸還した、潁州は敵李專州麾下九十二軍の根據地で司令部は潁州西南方數キロの地點に在り、山東、江蘇、河南、安徽戰區における蔣系軍の兵站基地である

笑止、例の"冬季攻勢"

重慶軍佛印國境移動

【廣東十五日同盟】重慶情報によれば、重慶軍事當局はかねて計畫中だつたといはれる冬季反攻を實施すべくその主目標を佛印に集中せんと小規模にも佛印國境方面へ軍隊の移動を命じたといはれる、すなはち第七戰區第十六集團軍麾下の第百三十一師は廣東省の北江防衞地區から佛印國境龍州へ移動を命ぜられ、すでに同軍の第百三十一師は龍州附近へ、また第百三十五師も明江一帶へ移駐を完了した、一方桂林にある在支アメリカ空軍の一部はこのほど南寧の新設飛行場に移動したが、桂林行營主任李濟深は去る九日桂林を出發、龍州鎭南關方面の防備狀況を視察、十五日には總參謀副長白崇禧も重慶より飛來して桂林で西南將領會議を開催、佛印國境一帶の反攻作戰を練り西南行營を南寧に移し白崇禧自ら總指揮に當ることに決定したと傳へられる

第二戰線とは看做し得ず

北阿作戰、ス首相所見を表明

【リスボン十四日同盟】モスコー來電＝ユーピー通信モスコー特派員は去る十一日スターリン首相に對して三ケ條の質問を發し、米英聯合軍今次の佛領北阿進駐作戰に對する見解を求めたが、右に對するスターリン首相の回答が十四日

米海軍、敗戰を自認

【リスボン十四日同盟】ワシントン來電によれば、南太平洋方面の屢次にわたる敗戰について從來極力事實を隱蔽、損害を小出しに發表するを常としてゐた米國政府も今次のソロモン群島ガダルカナル島附近の海戰については大本營の正確無比な公表を前に遂に敗戰をつつみ匿し切れず十四日海軍省コンミユニケをもつて海戰の事實ならびに米軍の損害を認めて次の通り發表したと傳へられる

ソロモン群島方面では十三日より大規模な海戰が開始された、戰鬪は現在依然繼續中で米軍は損害をうけたが、海戰の詳細については敵側に有利な情報を提供するを避けるため現在發表し得ない、但し同方面の戰鬪は單一の海戰に絡らず戰鬪は斷續して行はれてゐるから一回だけの戰鬪の結果をもつて情勢を判斷すべきではない

關門隧道開通

九州に現れた特急『富士』（門司新驛にて）下關要塞司令部檢閱濟＝電送＝

スペイン緊張

【ベルリン十四日同盟】マドリード來電＝前スペイン陸相デ・ブアレラ將軍は十四日北部スペインよりマドリードに歸着、直ちにフランコ總統を訪問要談を遂げた、またスペイン國內戰爭當時、空軍司令官として勇名を馳せた現カタロニヤ地區司令官キンデラン將軍も目下マドリードにあり、同市は軍政要人の往來に慌しい空氣が漲つてゐる

社說

常住坐臥の錬成

一

徵兵制の實施を近きに控へて我が半島青年男子國民の爲すべき喫緊の事項は幾多あるが、その最も直接的なるものは、特別錬成令の實施である。本令は朝鮮人たる男子青年に對し心身の鍛錬その他の訓練を施して將來軍務に服すべき場合に必要なる資質の錬成をなすことを目的とし、兼ねて勤勞に適應する素質の錬成を期するにあるが、思へば半島青年の上に與へられたその光榮をして眞に實行づけるためには先づその指導の任に當る人々の上には指導精神の確立と相俟つて撓まざる努力とが切望されるのである

二

顧みて半島諸般の實績を觀るに、小磯總督は着任以來機會あるごとに國體の本義透徹、道義朝鮮の確立を强調し、その實績の錬揚に烈々たる期待をかけて來たのであるが、未だ總督をして『高邁なる理想論を掲げても大衆には分らぬといふ、自分としては指導的立場にある國民にこの國體精神を認識して貰ひ更に下部層に普遍して實はうと願つてゐたのである』と述懷させることは實に慚愧に堪へない。總督は決して形而上の理論を說いてゐるのではない。皇國の民としての實踐道を說いてゐるのだ。『訓練は訓練、勤勞作業以外の時に特別錬成令實施に就いても『常住坐臥悉く訓練にある。從つていかなるものも悉く訓練だと知るべし』といふ、全く徹底せる實踐倫理の示唆である。臣その訓育の根本義を明示して『皇國日本の訓育は國體觀念に透徹せしむるにある』と揮論し、ややもすれば形式的末梢的に流れんとする民衆生活にがつちりと筋金を打込んだのである。總じて本立ちて道は生ずる。皇國民衆の生活訓練は、其が凡べての場を通じて殉國的に戰ひ拔く原動力を皇國の本然の姿に歸一すべきである。

三

現に總督のいふ勞務者の精神的感激とは何であらう。皇國の勞務者であるといふ榮譽の自覺に他ならない。全世界の萬邦光民に率先して皇國の國體を絶對に敬信し、大御稜威の宣揚を全世界に光被すべく醜の御楯として大君に捧げ盡さずにはゐられない〃み民われ〃の國民的情緒であると思ふ。これを端的に言ふならば、日本が如何なる大戰を戰つてゐるのか。皇戰は如何にして千古未曾有の大捷を次に擧げながら、六合照徹、八紘爲宇の大事業の第一線に血戰死鬪の盡忠を捧げてゐるかを眞實勞務者に徹底せしめ、銃後總力結集の勤勞主隊が自分達であるといふ不拔の責任感を喚起させるべきである。茲において指導者も被指導者も共に鎬々箇々一丸的に戰の陣營りを網打つてその錬成と敢鬪に現成すべきである。

全能力生擴に集中
東條首相所信を披瀝

【東京電話】東條首相は十五日の生産關係官民懇談會劈頭左の如き挨拶を行ひ
一、經營幹部としての心構へ
二、勞務管理者ならびに勞務者の心構へ
（三）生産增强に對する官吏の心構へと官民協力
（四）大東亞戰爭に對する國民の覺悟
の四項目を擧げて率直に政府の所信を披瀝し全國の生産關係者が徹底せる戰爭意識の下にその全能力を擧げて生産增强に邁進すべき旨を要請した

首相挨拶要旨

各般の情勢を綜合判斷するに大東亞戰爭は漸く緒戰の域を脱し本格的段階に入つたと申すべきである、喰ふか喰はれるかの激闘はいよいよ熾烈の度を加へてまゐつたのである、しかして戰勢は一々今後における彼我の活動如何によつて決せらるべきは改めて申すまでもないことであつて今やこの緊急の秋に處し皇軍將兵は一切を擲げて第一線に戰つてゐるのである

政府また國民の陣頭に立つて渾身の努力をいたしてゐるつもりである、國民またあらゆる艱苦を克服して涙ぐましい奮闘を續けてゐるのである、而して諸君はこの間に處して國家の存亡にかかる生産の部門を擔當して經營として活動を續けられてゐるのである、彼を思ひ我を思ふ秋諸君の並々ならぬ御努力に對し衷心より感謝の意を表すると共に、一刻もおろそかに出來ない生産の重要性にかんがみて忌憚のない所見を披瀝して諸君の一層の奮起を願ひ、さらに諸君を通じて全國の生産關係者の發奮を望む次第である

先づ經營幹部としての心構へについてである、大戰爭に處する經營幹部の根本的なるものとして私の特に感じ諸君にお願ひしたいと存ずる點は徹底せる戰爭意識の下に實行力を發揮するといふことである、今や諸國は一切を擧げて大東亞戰爭完勝の一事に集中してゐるのである

この大戰爭は平和到來の時における採算を今から頭において仕事が出來るやうなそんな生優しい戰爭ではない、どうか經營者諸君は是が非でも勝たなければならない、この戰爭をしつかり意識せられ、あくまでも盡忠報國の精神に燃ゆる滿々たる闘志をもつてこの上とも眞劍な努力を續けて頂きたい、しかして今やわれ〳〵の直面してゐる現時局においては滅私奉公とか産業報國とかを口先ばかりで唱へてゐることは全く無意味であり一百の議論より一つの實行が遙かに大切であることは敢へて贅言を[illegible]

[illegible]役は大綱を握ればよいと稱する向きもあるが現場を把握しない限り正鵠を得た大綱を握ることは困難である、また眞の實情を知つてはじめて適時適正なる命令を下し指導をなし得るとが出來るのである、第二に申上げたいことは泣言の嚴禁にあることである、申すまでもなく戰爭にはあらゆる困難や無理を伴ふものであり、この困難な無理を突破して行くところに戰勝の要諦がある、平時の頭で泣言ばかりいつてゐるやうな人がありとせば全く思はざるも甚しいものである、勿論政府としても手段を講じて經營者諸君に迷惑のかからないやうにするは固よりのことであつてその全力發揮を容易ならしむるため出來得る限り努力するつもりであるが、經營者諸君が進んで創意を發揮しあらゆる不足を克服してこそ、そこに眞の進歩がある、しかもそれにはかることも勿論大切であるが案外身近で簡單に實行出來ることで氣がつかないものが澤山ある、これらを積極的に取上げて實行に移して行く必要のあることを各方面の視察によりしばしば私は痛感させられたのである

第二はすべて國家的立場において生産に從事することである、今や生産者の努力如何は直接第一線の戰力に影響してゐる、この切迫した情勢下においては諸君の當面してゐる問題は生産の大小であつて利潤の大小ではない從來の營利主義より一歩も出ずして生産に關する國家の期待に副ひ得ない場合があつたとしたならば由々しき大事である、利潤の多い少いといふことによつてなすべきこともおろそかにするが如きことが萬が一にもあつたとしたならば一切を國家に捧げて生死を超越して戰つてゐる第一線將兵の背後より弓を引くものといふべきである、固より長い間營利第一主義によつて事業を遂行してまゐつた現在の機構なり習慣なり心構へなりより脱却して急に國家本位に經營せよといふことは實際問題としてはいろ〳〵とむづかしいこともあると存ずる、しかしながら國家の要求の前には如何なる困難も克服せねばならぬ、これには會社の後楯となつてゐる株主の心構も變らなければならない、それと同時に政府としても國家目的に協力したために生ずる損失については補償することを考慮せねばならぬ、この點新なる構想をもつて對處しなければならないが、なんと申してもその根本においては幹部の心構へと方針如何とが增産か現狀維持かを決する鍵をなすものと考へられる、營利第一主義の弊風より脱却し國家本位に徹底せる經營の改善、技術の刷新を積極的に生産增强を策するところに[illegible]

寫眞＝生擴懇談會席上東條首相の訓示（電送）

新しき經營幹部の進むべき道が存する、前述の三點と關聯することであるが工場防空に對して經營幹部は一段の熱意と積極性を示されなければならないと思ふ、工場も機械も設備もすべて戰ひに勝ち拔くための國家緊要のものであると考へた時、また事實さうであるがこれは準備と訓練の不足のために敵機の好餌とするやうなことがあつては國家國民に對してまことに申譯がない、工場防空においてもまた實行第一主義である

重役は從つて極言すれば特別のものを除くほかは拙速を尚ぶといひたい、もし拙速の措置をとつてこれが惡かつたならば徒らに自己の面子にとらはれること[illegible]

要はその當時の國家情勢が何を重視するやを虚心坦懷に考察したならば自らその歸着點を發見し得ると信ぜられるのである

第二の法令の運用であるが現在のやうにすべてものの動きの早い時代においては昨日施行された法律がもう今日の時代にぴつたりと即應しないことがあり得るとも思はれる

こゝにおいて法令の運用に當る官吏の責任はいよ〳〵頗る重大となつてきてゐると申さねばならぬ、官吏は單に法令の消極的番人であつてはならない、法令を無視した無軌道は許されないが法令の活用を沒却せる事なかれ主義あるひは前例踏襲主義は戰時活動の公敵である、法は死物ではなく國家のために存する生けるものでなければならない、しかして官吏執務の改善についてはこの際とくに上官が懇切丁寧にしかも積極的に部下を指導育成する氣魄が肝要と存ずる、また官吏執務の改善については民間側の協力が大事なことである、些細なことに關して徒らに公平を要求せられるが如きは官吏の活潑なる活動を澁滯せしむる憾れがあるものである、例へば一月前には適當ならずとしたことも今日においては適當なりと考へられることもあり得るのであつてこれをもつて不公平なりとするならば官吏は結局前例踏襲以外には步むことが出來なくなる憾れがあるからである、また官吏民間お互がその立場を理解しないで惡口をいひ合つたのでは到底生産增强は覺束ない、常に他人の惡口を言ひ他を批判する前にまづ自己を省みるべきである、自ら省みて疚しくないときにはじめて誠意ある忠告も發し得るのであると人にも自分自らも實行してをるのである

これを要するに與へられた自己の地位において與へられた目標に向つて積極的な正しき努力を傾倒することこそ今日における、われ〳〵の態度であるべきである、軍における共同動作は高等統帥の作戰計畫を基礎とし各級指揮官より一兵に至るまでが與へられたる任務達成のため自ら喜んで死地に邁進することによつて成立する、それと同じく己れを空しうして挺身してこそ皇國の官吏、皇國の産業人たる面目が發揮されるのである、徒らに右顧左眄して他の氣配を窺つてゐたのでは結局前には進まず從つて生産增加どころの話ではないのである

最後に大東亞戰爭に對する國民の覺悟について一言いたしたい、國民の一部の中には大東亞戰爭は緒戰の戰果により一段落を告げ今後は難しき建設戰が殘るだけであるといふ全く安易な樂觀的氣分となつて緊張を缺くものなきにしても非ずと認められるが、これは思はざるも甚しきものである、もう日本はどんなことがあつても敗けないといふ安易な自惚れを拔きにして『どんな艱苦も突破して絕對に勝たなければならない』といふ積極的な闘志に終始しなければならない、無條件に戰爭に勝てるといふやうな生優しい國民の心構へはこの際絕對に禁物である、しかしてまたこれとは反對に敵國は特に米國の物的戰力が膨大であつてその生産が飛躍的に上昇する趨勢を見て戰爭の前途に杞憂を抱く向きありとせばこれ亦譏まれるも甚しきものである古來の戰史に徵するまでもなく物資の力のみが戰爭勝敗の決定的要素ではない、物資の力固より大事であるが勝敗の要素には精神力、統帥、訓練、戰略的體制などといふ、さらに重要なる要素のあることを忘れてはならない、しかもこの點はわが國の最も優れてゐる點であることを國民は忘れてはならぬ、しかしながら彼我の生産力の差が著しく增大することはわが方の犧牲を大にし戰爭の指導を困難ならしむる結果となることは多言を要しないところであつて、この意味に於て生産部門に對する要求はいよ〳〵切なるものがあるまた戰爭の長期化することは當然であるから一時に勢力を費すは持久の道に非ずとして努力に手加減を加ふることが如き傾向ありとせばこれまた大なる誤りである、大東亞戰爭は申すまでもなく長期戰となる傾向を多分に持つてゐる、しかしながらこれは單なるゲリラ戰的小さな戰がだら〳〵と續く所謂『細長い』長期戰とは自ら異なるものがある、大東亞戰爭こそは大小幾多の決戰が次から次へと連續して行はれる長期戰なのである、あすの決戰に備ふるとともに遠い將來の決戰のことをも考へなければならない戰爭なのであるこれを思ふ秋一刻も空費することは出來ない、現在の決戰を戰ひつゝ將來の戰力擴充をはかることを最高度に活用するとともに着々として將來の增産をもはからなければならない

これを要するに今や帝國は是が非でもこの大戰爭を勝ち拔かんとしてゐるのである、この秋に當つてはわが國に必要なものは不可能を可能とする實行第一主義の人、與へられた職務に對して默々と精進する積極果敢なる人なのである、しかしてかかる人々が何如なる地位においても如何なる職場においてもその重大時局に對する透徹せる認識と崇高なる國民的自覺によつて續々と生れることを私は固く信じて已まないのみならず、かかる人物が大いに起用せられて大いに活躍せられんことを强く待望してゐるものである

指導者なる諸君におかれてはどうか老若を問はず實行第一主義の有用の人物を生して思ふ存分働かして頂きたいのである

なく、これまた徹底に訂正すべきである

もとより迅速なる事務の處理もあくまで親切心がその根底をなさねばならぬ、『迅速』といふ美名にかくれて親切なる取扱ひに缺くるが如きことは嚴に戒めねばならぬ、こゝに一つ注意すべきは現在の官廳機構が如何なる問題に對しても一官廳のみの裁量で決定し得るものが少いといふことである、從つて各官廳が與へられた職域の立場から自己の見解を主張する場合それへその動機は全く國家を憂ふる至情から發するものであつても結果において迅速なる處理の障害となるが如きことなきやう十分愼まなければならない

生擴官民懇談會
今後も開催されん

【東京電話】生産力增强確保を目指して、十九日行れた官民懇談會は現下緊急の問題たる戰力增强實現の意欲昂揚のうへに豫期以上の成果を收め政府側も多大の滿足の意を表してゐる、民間各代表側もまた力强い感銘をうけ懇談會の閉會に際し松本健次郎氏の行つた挨拶にもこの會の有意義性にかんがみさらに一、二回懇談會を開催されるやう政府に要望してゐるので適當の時期に再度今回のやうな懇談會が開催されることとなるう

大戰週間戰況（八日より十四日迄）

印度洋、南方水域、太平洋、北洋におけるわが艦艇の布陣は敵の海洋ゲリラ戰を完封して、いさゝかの蠢動反攻の隙も許さず、わが必勝の態勢を强化しつゝある、このとき歐阿戰線は急展開をみせ不法にも米英軍はアフリカ佛領植民地に進攻した、ここにおいてフランスは中立的態度を一擲し米と國交を斷絶、これが邀擊に起てば獨軍また自衞のため佛占非領地區への進駐を開始し、さら伊軍コルシカに上陸、かくて戰局の重點は西地中海に移行した以下は【八日—十四日】の週間世界戰局である

大東亞戰局

敵はわが前面に怖く防備陣を潛つて唯餘の海上交通破壞のゲリラ戰法に出でんとし蠢動を續けつゝあるが、わが潛水艦の果敢極まりない猛威の前には、いさゝかの自由の餘地もない狀態である、すなはち七日大本營の發表にみる如く帝國海軍は七月下旬以降十月下旬までの三ケ月間に敵潛水艦二十一隻船舶卅四隻廿五萬二千四百トンを擊沈、遠く印度洋、南方海域、太平洋、本土近海において活躍赫々の大戰果をあげた

又アリユーシヤン方面にある陸海軍部隊は十一日の大本營發表にみるやうに六月十二日以降十月末日までに敵機と八十一回に亘つて交戰し卅二機を擊墜、連日の奇襲に敵の反攻を見事に擊退し嚴たる北洋の護りに任じてゐる、海上ゲリラ戰完封といひあるひはアリユーシヤン方面の嚴戒に戰果大いに上るといふもその蔭には尊いわが方の犧牲のあることは斷じて忘れることはできない

△支那戰線

擾亂米機の蠢動を殲滅せんとするわが戰闘飛行隊は十二日午前大擧して湖南、廣西兩省に進攻して桂林及び零陵飛行場上空に於て米空軍と壯烈な空中戰を展開した、その戰果は確實にその四機を擊墜三機に命中彈を浴せ地上にある三機を擊破した、また河北省における剿共十月中の綜合戰果十二が日發表された、それによると交戰兵力は三萬八千三百二十、交戰回數四百二十九、敵遺棄屍九百九十四を算し捕虜七百二十八、鹵獲兵器多數にのぼつた

△歐阿戰局

暴戾非道な米軍は遂に假面をかなぐり捨て七日アフリカ佛領植民地に不法侵略の手をのばして上陸作戰を敢行した、かくて佛軍との間に激烈なる戰闘を交へモロツコ沖においては佛艦隊は聯合國艦隊と大海戰となるなど歐洲戰局の中心は西北阿に移行した、八日夜フランスは米の西阿侵略は正に戰爭行動であるとの理由によつて對米斷交を通告

一方ジブラルタルは國籍不明の空軍によつて大空襲を蒙るなど西北阿は凄惨なる戰場と化した八日にはアルジエー沖から進攻した米艦隊は佛軍のため四隻を擊沈された、しかしアルジエー市の戰闘は停戰のやむなき狀態となつて休戰し、八日正午米軍は入城した

その續いて米軍はオラン、モロツコ、チユニジヤの各地方から續々上陸進攻作戰に出たが奮戰よく佛軍はこれを邀擊して與戰上陸を阻止し獨伊空海軍は佛軍に協力してこれを猛攻擊し戰果をあげた、十日にはモロツコ上陸の米軍は佛軍に背後を衝かれる態勢に置かれ、苦戰に陷つた、米英の佛領アフリカ進攻によつて地中海に戰局の重點が移行するのを豫測して獨軍は十一日佛非占領地に進駐を開始し伊軍はコルシカ島に上陸防備態勢を整へた

かくて獨伊兩軍は綽々たる餘裕をもつて作戰を進捗しつつある

生産懇談事項

【東京電話】十五日の生産增强官民懇談會における懇談事項左の如し

大東亞戰爭の消耗を補塡しかつ戰力基礎たる生産力を急速に增强するの方策如何

（イ）生産に關する責任所定の明定に關する件
戰爭計畫經濟の運營上官民の責任分野を明確にし各々その責任に恪遵し律動的に生産が齎らせらるることは重要なる要諦であり、今日までの統制經濟の運營の實績經驗に鑑み、この際これが明確化の方途につき懇談を遂げんとするものなり

（ロ）現有設備の活用その他生産能率昂上に關する件
戰爭下においては物的、國力例へば資材設備の最高の效率發揮を要請せられ、とくに生産力の比較的小なる場合においてはこれが要諦は絕大なり、從來の生産擴充および計畫經濟の實施の經驗に鑑み現有設備の活用その他生産能率昂上につき懇談を遂げんとするものなり

（ハ）勞務開闢の刷新改善に關する件
戰爭生産の下に於ては勞務の比較的不足は必至の現象なるところ一方において日本國民の奉公心は國難に向つて常に旺盛たるべし、よつて勞働能率の昂上に關してもこれを如何に作業の上に發揚せしむべきか、奉公せしむべきか、國家および企業經營者の勞務管理改善に對する責任はいよいよ重大を加へたり、よつて將來の施策に資するため本件に關し懇談を遂げんとするものなり

（ニ）原料資材の活用に關する件
戰爭生産の下においては原料資材の節約活用につき劃期的なる工夫を必要とするとともに國內および東亞の自給原料資材の上に戰爭需要を充塞せざるべからず、この點につき官民協力の上具體的に解決すべき分野なほ相當ありと認む、よつて本件につき懇談を遂げんとするものなり

（ホ）發明發見などによる生産の創意工夫に關する件
戰爭は發明發見を生み、生産の創意工夫を生む母體たり、しかして未曾有の大東亞戰爭下において帝國國民の必勝の信念は必ずこれを生み出すべし、また現にかかる動向は最近とくに顯著なりと認む、かかる情況に對處し政府は適當なる施策の確立をはからんとしつつあり、よつてこの際本件につき懇談を遂げんとするものなり

隨想錄

日淸日露の兩戰役は今日から見ればそれ程に感じられぬかも知れないが、當時局に當つた人々は實に皇國の興廢を賭した外戰であるとなし、身命を拋つて奉公したことは幾多の文獻にも見られる通りで、特に畏れ多いことながら明治天皇の御宸襟を惱ませ給ひしこと[illegible]恐懼の外はなかつたと言はれる▲文武官吏然り、下國民も亦爲政者から號令をかけられねば動かない等言ふだらしなき狀態でなかつたことを我々子供心にもおぼろ氣に知つてゐることである、されぱこそ、大人と子供の喧嘩位にしか世界中が見てゐなかつたのを堂々と勝ち拔いて列强の班に入り今日の基礎を築いたのである▲賞り惜み、買溜めはもとより闇の横行等藥にしたくもなかつた、大東亞戰爭は日淸日露の兩役に比しその規模においては勿論のこと、その世界史的意義において隔段の差があり、もし萬々が一にも敗れるやうなことがあつたら、恐らく昔の『島帝國』に引籠る位なことでは濟まされない、祖先に對して申し譯のないのみならず子孫に向つても顏向の出來ない仕儀になるのである▲物資の不足は毎日の生活の上に刻々と響いてゐる、然しこの苦境を切拔けなければ日本人の生き得る道は絕對にないのだ、子供のためを思ふならば、孫が可愛いならば齒を喰いしばつても頑張り通さねばならない、現に我等の首相東條大將の日常の起居に見よ、本當に睡眠を攝つてゐるのは三、四時間は出でないであらう▲床に着く時は必ず鉛筆とメモを枕下においてゐるが家人の話によつても午前三、四時ごろには何時もスタンドの灯がついてをり、メモには何かしら書きつけられてゐる、恐らくは夢にも國事を思うてゐるのであらう、而も朝は八時半には一分の遲刻もなく官邸の公室に現はれて政務を執つてゐる、滅私奉公といふのは實に東條首相が身を以て垂範してゐるのだ▲爾餘の大臣顯官でも首相に劣らぬ勤精をしてゐるであらうこと一點の疑ひもない、小磯總督や田中總監が事務的に勉强し過ぎるのは餘りに細部にまで細か過ぎるといふのは不勉强者、劣惰者の自己辯護以外の何ものでもない、戰時と平時とを取違へてはいかぬ、我々は——我々自身が今大東亞戰を續けてゐることを忘れてはならない。

滿洲國政府
農産物强制出荷令公布

【新京十五日同盟】農産物の集荷確保の一方策として滿洲國政府は小作料の金納制、誘農、不在地主の出荷忌避者に對する强制出荷ならびに集團出荷措置に關して考究中であつたが十六日興農部令をもつて特産物專管法第二十三條米穀管理法第二十條ならびに米穀管理法第二十二條の三の規定により命令に關する件を公布十二月一日より實施することとなつた、本令は三ケ條より成りその骨子は同一指定地域內に居住する地主に對し、小作料を納入の場合物納を金納に改め現物の退藏を防止せんとするもので違反者は處斷される、また地主が指定地域外より小作料に現物收納をうけた場合は報告の義務がありその報告があれば强制出荷を命令されるもので滿洲農政史上劃期的意義を有するものである

新國民運動展開
けふ翼贊、壯合同會議

【東京電話】政府の地方長官會議、事務局長もこれに[illegible]開して運動促進招集による戰時必勝行政機構運營の精神の徹底に即應して必勝國民態勢確立運動の趣旨を末端機構にまで滲透せんとする翼贊會地方支部事務局長、全國翼贊壯年團長の合同會議は十六日午前九時から本部會議室で開催される、會議は國民儀禮ののち安藤翼贊會副總裁兼翼贊壯年團長および後藤翼贊會事務總長の挨拶があり職場精神の昂揚、生産增强の決行、戰時生活實踐徹底を三大目標とする新國民運動實施要綱およびこれが運動展開第一次具體的目標たる
一、勤皇護國烈士、先覺者顯彰運動
一、國民皆働運動
一、重點輸送强力運動
一、配給適正化運動
一、必勝府藩運動
に關する說明が行はれ、正午一旦休憩午後一時再開、大東亞戰爭一周年記念行事についての指示があり、翼贊顧問を行ひ、一億國民の躍動的必勝態勢强化確立の決意を新にして午後六時閉會する、閉會後は中央幹部と支部ならびに翼壯の幹部はさらに懇談を重ねる豫定である
一同は十七日午前の翼贊壯年ならびに翼壯の幹部は十八日午前にわたつて翼壯團の徽旗授與式に臨み同日午後および十八日午前にわたつて翼壯團會議が開催され、翼贊會支部の[illegible]

地方長官會議終了

【東京電話】地方長官會議第二日目は午後一時再開、午前に引續き政府側の發言が行はれ、井野農相より現下の食糧需給狀況を中心に說示あり、次いで小泉厚相より午前の會議において地方長官の行つた厚生行政の質疑に對する答辯あつて、同三時一旦休憩、三時十五分再開、湯澤內相の指名により地方長官の關係狀況の報告ならびに意見開陳に移り吉永警視總監、三邊大阪府知事などより發言ののち大藏省關係會議に入り、賀屋藏相の說示およびこれに對する質疑が行はれ、二日間にわたる臨時地方長官會議は多大の成果を收めてこゝに閉會した

棉作地帯を行く（四）京畿道の巻
温情に實る供出
惡條件を克服して早仕舞ひ

水原郡　この郡は棉作耕地一しだが六月中旬から慈雨が見舞は一情で指導しもつて農民に棉は國家[illegible]

——白川特派員記

商業登記公告

[illegible]

起ち直る佛國

老軀に脈搏つ熱血

ペタン老元帥を陣頭に蹶起 歐洲新建設へ邁進

風雲急を告げてゐた西北阿佛領植民地への米英軍不法上陸は歐洲戰局に一大轉機を劃し戰局の中心は地中海に移行した、老いの身に鞭うつて雄々しく起ちあがつたペタン國家主席を中軸に銳意祖國再建に挺命してゐたフランスはその中立的態度をこゝに一擲し、洞ケ峠を下つて米國と國交を斷絕、かくて敢然と矛を執つて戰砂の上に祖國防衛血盟の大旆を掲げ米英擊滅の火蓋を切つた、一度は敗戰の厄に遭つたとはいへフランス植民地駐屯軍は素質優秀にしてその陸海兵力はなほ侮るべからざるものがあり抗戰よくその威力を發揮しつつゐる、しかしフランスは獨力をもつて米英の危局を防衛し得るとの決斷は俄に下し得ない現實である、從つて歐洲戰局明日の課題が一つにアフリカ戰線の興廢にかゝつてゐるといへよう、敗れて雌伏こゝに二ケ年、祖國の整備は或る程度の實力の培養に成ひつゝあるフランス最新の諸情報を綜合して『起ち直るフランスの姿態』の應斷面を拾つてみよう

勞働・家庭・祖國

敗戰が教ふる三標語

獨軸軍がアフリカ大西洋岸ならびに北阿に進擊するのを未然に防止するのだと稱して米英は不遜にも七日午後三時(現地時間)アフリカ佛領植民地侵略の毒牙はのばされ、アイゼンハウアー中將を遠征軍總司令官に、上陸軍司令クラーク少將、空軍司令ゼームスドウリトル代將をもつてする米軍はモロッコおよびアルゼリヤに對して進擊を開始した、この米の不法暴虐な侵略行爲に對し佛軍はダルラン提督の最高指揮官、ノゲスモロッコ軍司令官指揮のもとに果敢なる邀擊戰を展開し現に火蓋散る激戰を續けつつあり、獨伊樞軸軍また陸海空の精銳をこれに協力せしめ戰果を擴張しつつある、フランス本國の糧道であり『眞珠の首飾り』として誇るアフリカの植民地を喪失することは起ち直らんとするフランスの死命を扼するだけに、國力を賭して專守防衛に當らねばならないこと勿論である、再び襲ひ來つた危局に立つフランスであるが想へばコンピエーヌの森で獨佛休戰協定を結んで今日まで二ケ年餘世界政局から殆ど忘れられた地位に置かれてゐた、敗戰の廢墟に立つた年老いた國家主席ペタン元帥を陣頭に仰ぎ廣大なアフリカ、太平洋地域の植民地をも動員して祖國再建のための涙ぐましき『新しきもの』を營々と築きあげつゝあつたのである

建設の新標語

非道なる策謀を放つイギリスはフランス國民のペタン政府離叛の謀略を續け、レイノー內閣の國防次官で當時ロンドンに在つたド・ゴール將軍は懸命にフランス國民の叛亂を煽動したが、祖國再建の堅き信念に燃えたペタン主席は敢然と再度內閣の改造を斷行し政府はボルドーを去つてウルバン法王が第一十字軍を宣言した由緣の地クレルモンに移り、この地に止まること僅かに二日、愁色を打ち拂ひつゝビシーに移つたのは七月一日だつた、ペタン主席は廢墟の祖國の土に起つてまづ何より先に考へたことは『敗戰の教訓を學ぶ』ことであり、イギリスと絕緣し、ドイツと接近することであつた、彼が放つた政策の第一矢は『フランス政府は嘗つて見ざる難局の處理に直面してゐる、まづ交通を再建し國民を各自の家庭に職場に復歸せしめ食糧補給の途を確保しなければならない、秩序の回復が何よりも必要である、對外的には獨伊の擁護につとめ平和を商議し締結せしめねばならぬ、昨日の友として多大の犧牲を拂つたイギリスは今日我を見捨てゝ敵として矛を向けてゐる——』と述べ新フランス建設の標語として『勞働、家庭、祖國』の三語を選んで逞しき祖國再建への實踐に移つたのであつた しかし道程必ずしも平坦とは限らず紆餘曲折は免れず對獨政策からラバールは十二月十四日一時袂を別つて政府を去り越えて一九四一年二月廿五日再度兩閣は改造されダルラン提督の內、外、海相兼攝をはじめアンチヂエ將軍、バルトルミー、カジオの四人によつて小數閣僚主義による統一力の強化をはかる閣內の斷結性が實現した

國內政治を改革

擧げて樞軸へ接近

敗戰の憂き目に曝された傷手を負ふフランスは休戰協定の實務遂行には國民の生命を犧牲にしてもこれを遂行しなければならない、そして祖國を遠く隔てた赤道直下のアフリカ植民地、シリヤ、或ひはマダガスカルの防衛に當らねばならない、多端な情勢下に立つたフランスの危局はしかし容易に脫域することはむつかしかつた、わが日本とは經濟協定、軍事協定を結んで東亞における植民地の權益を擁護し、フランス防共義勇軍の編成によつて獨軍との共同作戰下にソ聯戰にも立向はねばならなかつた、マルチニーク、ギヤナ、アンテイル等に就いても米と協定を結び食糧の補給を仰いだ、かうした點からフランスは中立の態度を終始することは出來なかつた、中立態度の堅持の制約下に國內政治は逐次改革されて行つた、食糧問題の解決、經濟的改革、社會組織の改革による勞働憲章、田園制度の設置などあり、經濟再組織としてはフランスが金を基準とせず、金は國內支拂のみに用ひ、嚴密なる國家統制のもとにインフレと物價騰貴は回避され、通貨の流通高は銀行小切手の強制的使用によつて漸減されるなど意を注いで來たのであつた

愛國心の昂揚

經濟再組織による國內秩序の回復に呼應してペタン主席は精神的復興を強調し特に青年層の奮起を促し教育の振興による技術、德育の昂揚を企圖した、その綱領は初等中等の二重形式を廢して教育の統一を圖り、熾烈純正なる愛國心をまづ教師にそして青少年生徒に植付け、私立學校の發達を促し、學究課程を輕減して體育を強制的に行はせ民族の體力的復興を圖つた智的復活を青年に求めることとそれは『人生は中立ではあり得ない、何れかに敢然と旗幟を鮮明にするところに成立する』といふペタン主席の意圖から出でしかも次代を負ふゼネレーションへの深濺な負託でもあつたのである、既存の青年團體は強力なるものへ統合された、休戰のため軍務を解除された青年は地方的必要に應じて田園における奉仕勞働をなすため九萬からの青年を收容する野外勞働キャンプの設營をなした、これらの青年は田畑の勞働ばかりでなく森林勞働に、道路構築勞働に、國家奉仕の汗の勞働を續け、學校教育を終了した青年を集めて智育體育を補足して社會的訓練、協力鍊成を圖る一つの大きな組織ともなつてゐるのである、國民の青春であるこの青年に逞ましくも潑剌たる息吹きを與へ四分五裂となつた國土の上に再生の火花を散らして起ちあがつた姿である

新歐洲再建へ

ラバールが首相として復歸したのは去る四月の十八日だつた、彼が切り拔ける當面の問題はドイツにある百五十萬の抑留されたる俘虜となほ蠢動する國內ボルシエビイズムの克服であつた、從つて彼が掲げた政治綱領のうちに見る如く『余はドイツの勝利を祈念する、ドイツの勝利なくばボルシエビイズムは世界に氾濫するであらう—』更に『獨伊に對しては正常にして打解けた關係を確立することであり、新ヨーロッパの誕生に全力を傾倒しなければならぬ—』とも說いてゐるのである

暴戾米英軍

かつての盟邦を蹂躪

かくてフランスは外に對しては嚴なる理解に依存し、內に對しては嚴たる組織の強化を圖り、有史以來の最大の悲劇的期間をこの二ケ年の間に切り拔け得たのであつた、祖國再建の門出がなつたとき、アフリカにおける植民地は暴戾なる米英の侵略に蹂躪されるの嚴しい試煉の現實に直面したのであつた、英軍のマダガスカル島不法攻略に次いで米軍の西北阿植民地揚陸に對しこゝに中立的態度は揚棄して米と國交斷然を敢行したのである、外電の傳へるところによれば佛海軍はモロッコ沖において果敢なる海戰を行ひ米英四艦艇を擊沈してゐる、アレキサンドリヤ港に不法英のために抑留されてゐた艦艇は接收され、オラン軍港において英の地中海艦隊に不法攻擊をうけて喪失した艦隊あり主力艦勢力は半減してゐるとはいへ戰前世界四位の海軍國であつただけに今日なほその勢力は侮りがたいものがあり、地中海本國沿岸のツーロン軍港、北阿のオラン軍港、モロッコのカサブランカ、西阿のダカールにそれぞれ分散してゐるこれら艦艇は樞軸獨伊海空軍の擁護下に相當の活躍を續けるであらう、獨伊軍の今回の強力なる協同に次ぎ、獨軍の非占領地區への進駐、伊軍のコルシカ島上陸と相俟つて歐亞戰局は地中海を中軸に展開されんとするときフランスはよく歐洲の新秩序建設の意義を理解し、やがて對米宣戰への過程を踏む運命に逢着しつゝあるのである、祖國再建のためにアフリカ及び東亞の各植民地は擧つて參戰への準備に萬全を期しつゝある、多難の道を踏み越え乘り越え新しきフランスの活きる道を切り拓きつゝあるのである、ダルラン提督の現地急派に自ら陸海空總司令の任に當り、老いの身を提げて陣頭に起つペタン元帥と祖國への忠誠を誓つて起ち上つたフランスなのである

【寫眞=ペタン國家主席と國家に忠誠を誓はんと植民地に捲き起つた祖國再建運動のポスター】

永遠の女 (20)

晩春の一齣 (五)

牧洋 作　岩本正二 繪

『京城のお客さんだつて。誰だらう』

傑はいぶかりながら、電話口までかけて行つた。

『もし、もし。お客さんに代つてくれ給へ。もし、もし。僕、李傑です。え、金殿さん、鑛山の…あ、さうですか。これは珍しい。やま(金山)が賣れましたつて。え、五十萬円。ほう、すごい景氣だなア。えゝ今すぐ行きますから、そこで待つて下さい、ぢやア……』

金殿は平安北道の山から京城へ歸る途中、平壤に下りたのだつた。傑は他人事ながら、興奮する程うれしくなつて來た。傑は早口調で愛羅に言つた。

『金殿つて僕の中學時代の先輩なんですがね、金山が五十萬円で賣れたので、久しぶりに親友の僕を訪ねてくれたんですよ。友あり遠方より來る、また樂しからずやです。貴女の結婚は、むろん、貴女の意志が第一に尊重さるべきですよ。お父様が納得するやうに、ねんごろに話すんですな。ぢやアさよなら』

傑はそそくさと出て行つた。彼が、羅昌里の、自分の工場に歸ると、金殿ともう一人の青年が、工場內の見物を了へて、事務室で煙草を燻しながら、彼を待つてゐる所だつた。

『やあ、やあ』

と、彼等は西洋式のかたい握手を交した。金殿は、傍に腰かけてゐる青年を指しながら、

『僕の友人の鑛山技師だ。君のことは、もう紹介してあるんだが、まあ、よろしく……』

と言つた。その青年は

『僕、石井軍三です。あなたのことは、金さんからいろいろ承つて居ります。仲々、面白いお仕事をやつて居られますね』

と、朗かな口調で、微笑しながらいつた。日焼け、荒つぽい西洋人ばかりとつき合つてゐる傑には、むしろ女性的な程、ものやはらかな軍三の眼ざはりに、すつかり好意が持てた。

『いいえ、ほんのつまらぬ仕事です。さあ、折角平壤へ來られたんですから、大同江の船遊びにでも出掛けませんか。金さんが五十萬円も儲かつて、わざわざ名勝の地を訪れたんですから、一つ今日はうんとおごつて貰ひませうよ、石井さん』

傑はさう言ひながら、タオルで顏を拭き、背廣に着かへてゐた。

『李君、全くこの石井さんのお蔭だから、うんともてなして下さいよ』

『え、承知しました。あ、いい女の友達をご紹介しませう。聲樂家で、仲々しつかりした朝鮮のインテリなんです』

『え、聲樂家。石井さんは、鑛山技師の提琴家なんだ。李君はオルガンの技士なんだから、オルガンが彈けるだらうな。』

『金さん、馬鹿にしなさんな。ピアノの伴奏ぐらゐ、そこいらのピアニストにひけをとりませんぜ』

『ぢやア、三人、いい組合せぢやないか。どうかね、李君。船の上で一つ音樂會を開かうぢやないか』

『まさか、ピアノを船の中にもちこむわけにも行きませんて。手風琴でまに合せませう。』

『手風琴もやれるのか。仲々、器用な男だなア』

『石井さん、その隅つこにバイオリンが置いてありますから、持つて出かけませう』

『これはどうも、僕は本當にまづいんだがなア』

軍三はちよつと謙遜した。傑は電話で、宋愛羅をよび出した。彼等はタクシーを驅つて、大同江へ出かけた。

ラジオ 16日

朝 七・〇〇『長期戰と生活道』綠旗聯盟山里常務理事▲八・〇〇今日のお知らせ▲八・二〇同(鮮語)▲九・〇〇『木炭の合理的な使ひ方』總督府林業試驗場尾石技手▲九・三〇古着更生の子供服(鮮語)梨花女專安本講師▲一〇・〇〇〃オチバノオフネ〃番町コドモ會▲一一・〇〇一年生の時間お話『一ツブノオコメ』小川一郎

晝 〇・三〇 吹奏樂―行進曲『大東亞』他三曲 長櫻吹奏樂團▲一・〇〇朗讀〃美はしき任務〃會田まさ作―▲二・〇〇1〃學校新聞〃岡村二一2(城)同古賀放送員 ▲二・三〇朗讀(鮮語)〃美しき救援隊〃白野牧子▲四・〇〇教師の時間は休止▲四・三〇 國史譚〃名判官大岡忠相〃(鮮語)宮本北阿峴國民學校長

夜 六・〇〇少國民講談〃黒潮隊の活躍〃(一)一龍齋貞鏡▲六・三〇『大東亞戰爭と電氣通信』電氣通信學會々長丹波工學博士▲七・五〇ベルリンよりドイツ通信▲八・〇〇1講談〃吉岡兼房齋〃神田伯龍2〃國史の根本精神〃板澤武雄▲九・〇〇1伽倻琴併唱(鮮語)短歌『大丈夫』ほか吳太石2雅樂―李王職雅樂部より中繼―絃樂『重光之曲』ほか指揮成松清3歌謠曲音盤▲九・四五初步國語講座